

橈骨遠位端骨折手術に対する 新しい掌側ロッキングプレート設置法

Guide pin Insertion First Technique (GIFT法) 一第2報一

太田 剛

藤原 鷹

埼玉県済生会川口総合病院 整形外科

藤田 浩二

二村 昭元

東京医科歯科大学

東京医科歯科大学

統合イノベーション機構オープンイノベーションセンター
医療デザイン部門

大学院医歯学総合研究科 ジョイントリサーチ講座・
ジョイントリサーチ部門 運動器機能形態学講座

第67回日本手外科学会学術集会 2024/4/26.7



第67回日本手外科学会学術集会COI開示

筆頭発表者名：太田 剛

演題発表に関連し、開示すべきCOI
関係にある企業などはありません。



【はじめに】

- ・ 掌側ロックングプレート（VLP）は
橈骨遠位端骨折治療のGolden Stander
- ・ 橈骨遠位端骨折はcommon bone injury
- ・ 正確な整復固定が必要だが、容易では無い



VLP手術の要点

- ① 適切なプレート選択
- ② 正確な解剖学的な整復
- ③ 適切なプレート設置位置



【目的】

容易に適切な位置に
プレートを設置でき
る方法を考案



【対象】

2023年5月～12月の間にVLP固定を行った25症例

性別 男性5例 女性20例

年齢 平均 66.8歳（25～88歳）

骨折型	A2	4例	B2	9例
	C1	8例	C2	4例



【方法】

Trance FCR approach

使用したVLP

Xpert Wrist 2.4

Newclip Technics社



GIFT法

最初にGuide pinを1本刺入.

そのPinにPlateを差し込んで

Plate 設置位置を決定

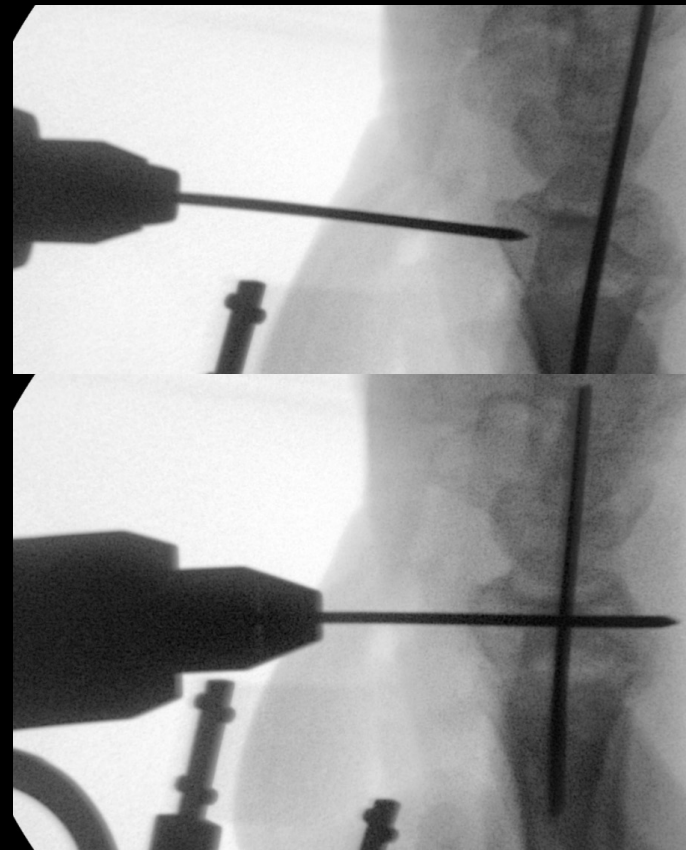
Guide pin **I**nsertion **F**irst **T**echnic



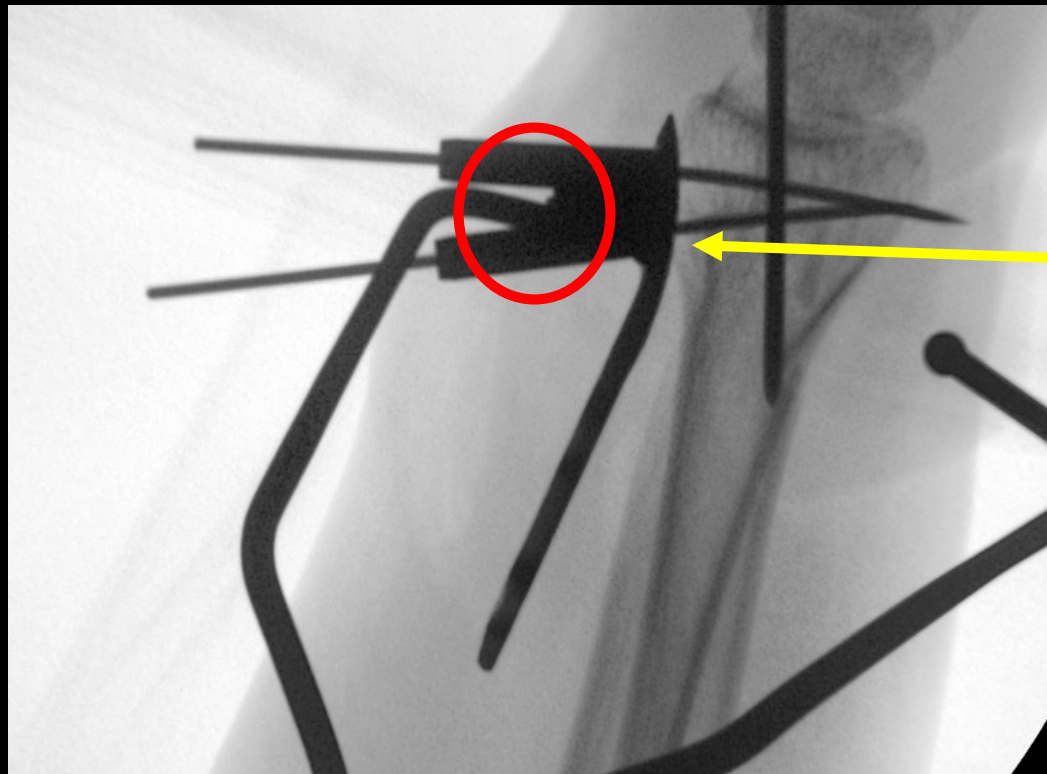
正面像で橈骨茎状突起にK-wireを刺入し仮固定



側面像で関節面に平行になる様に刺入



Guide pinにプレートを挿入



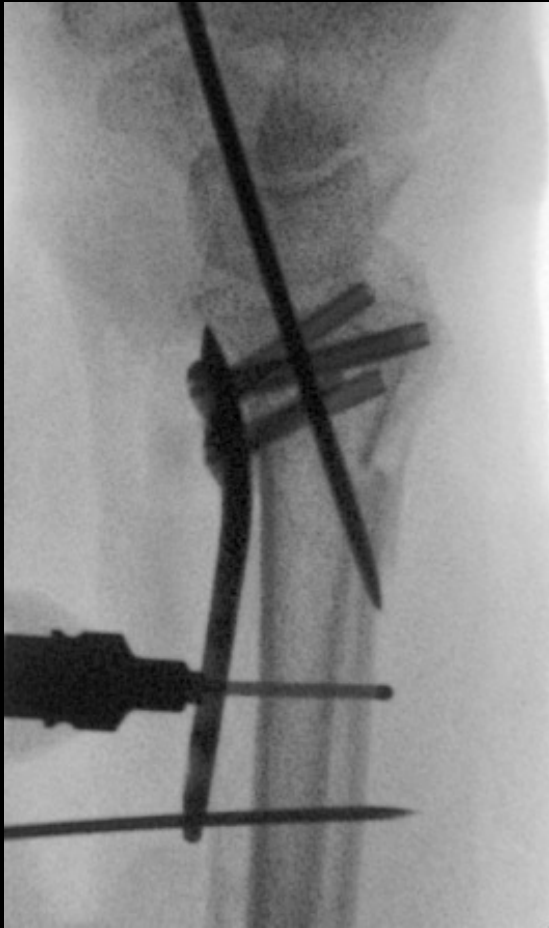
ピンガイド



**Guide pinの長さを計測
cannulated drillでdrillingし
cannulated pinを挿入する**



Condylar Stabilizing法で整復固定



【結果】

全例骨癒合 合併症無し

ROM 76/71

VT 14.5°

RI 22.7°

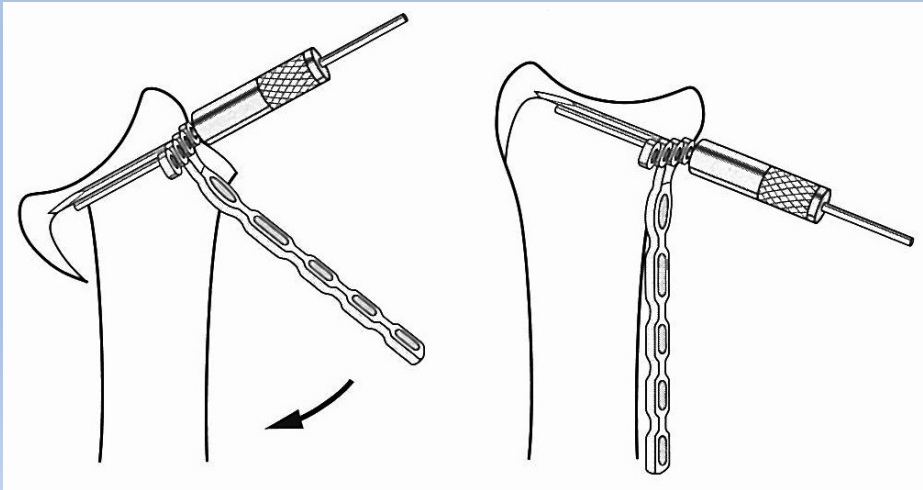
UV 0.15mm

良好な成績



【考察】

骨折整復と適切なピン・プレート設置を
同時に行うことは困難



清重佳郎 : J MIOS, 52:10, 2009.より



強固なGuideによりGuide pinを刺入した位置に 正確にプレートを設置できる



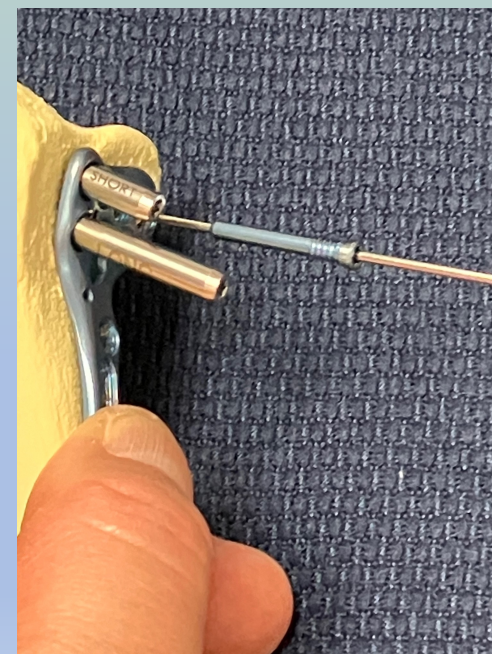
Guide pin越しにCannulated DriverでPinの長さを計測し そのままCannulated Drillで掘削可能



Cannulated Driver



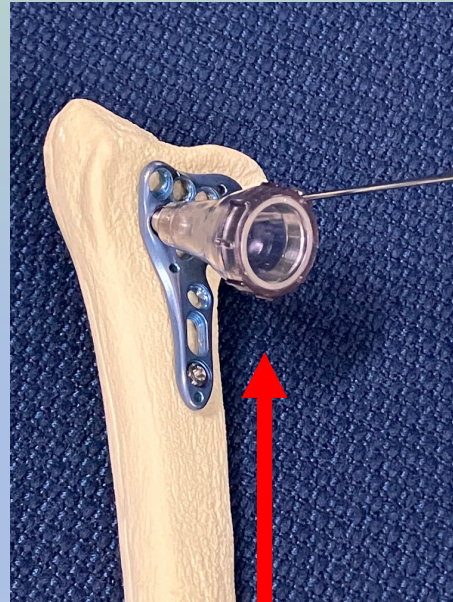
Cannulated Drill



Cannulated pin



その他のHoleには円錐Guideを用いてpoly axialでも可能
圧着鉗子による圧迫も可能



円錐Guide



圧着鉗子



【Limitation】

- 症例数が少ない
- 経過観察期間が短い
- 使用可能なVLPが限られる



【まとめ】

- **GIFT法によりVLP設置位置を決定し手術を行った**
- **適切なピン・プレート設置位置が可能であった**
- **GIFT法はVLP手術に有用と考える**

